

平成28年 第 1回帯広市教育委員会会議録

1. 平成28年 1月18日月曜日 16時30分～17時
帯広市教育委員会会議を帯広市役所 教育委員会室に招集する。

2. 本日の出席委員

教育委員長	田	中	厚	一
教育委員	門	屋	充	郎
教育委員	伊	藤	成	昭
教育委員	藤	澤	郁	美
教育長	八	楸	祐	子

3. 本日の議事日程

日程第 1 会議録署名委員の指名について

日程第 2 その他(1) 今後の事業予定について

その他(2) 寄附受納について

その他

日程第 3 報告第 1号 平成27年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について【非公開】

- 田中委員長 これから、平成28年第1回帯広市教育委員会会議を開会いたします。
- 出席委員は全員であります。
- 会議は成立しております。
- ここで諸般の報告をいたします。
- (福原課長 報告)
- 日程第1、会議録署名委員の指名を行います。
- 会議録署名委員は、伊藤委員及び藤澤委員を指名いたします。
- 日程第2、その他に入ります。
- その他(1)今後の事業予定についてを議題といたします。
- 直ちに説明を求めます。
- 広瀬調整監 2月の学校教育課の事業予定についてご紹介いたします。教育研究所では記載のとおり教育研究会、会議等を予定しております。
- 葛西調整監 生涯学習部からは、文化課はご覧のとおり2件の事業を予定しております。14ページ、図書館では下から2番目、とかちジュニア文芸贈呈式を2月21日に予定しております。次にインテリア教室につきましては、インテリア産業協会からの申し出で今年初めて実施する行事でございます。なお、この行事から図書館が3月3日に10周年を迎える記念事業として実施いたします。15ページの百年記念館の1つ目は、氷まつり期間中2月6日7日に下駄スケート体験コーナーを開設する予定でございます。博物館講座としましては、帯広大谷短期大学副学長の岡庭氏をお招きし、2月13日に開催を予定しております。16ページは記載のとおり、動物園、スポーツ振興室の事業を予定しております。以上です。
- 田中委員長
各委員
田中委員長 これから質疑に入ります。
- ありません。
- 別になければ、質疑を終結し、本件を終了します。
- その他(2)寄附受納についてを議題といたします。
- 直ちに説明を求めます。
- 村木 課長 学校教育課の寄附1件をご報告をいたします。十勝三菱自動車販売株式会社代表取締役社長、鈴木享様より、平成27年12月25日に市内全小中学校40校に対し、同一図書400冊18万円相当を環境に対する取組みの大切さを伝えるとともに、電動車両を身近に感じてもらうためにご寄附いただきました。以上です。
- 増子 課長 文化課から1件ご報告をいたします。帯広市宗教法人真如苑とかち支部代表役員、米村彬様から平成27年12月24日に現金20万円を風土に根ざした文化振興のためにご寄附いただきました。ふるさと文化基金に積み立てるため、3月議会で補正予算として計上予定をしております。また、真如苑様からは平成20年から毎年20

万円のご寄附をいただきまして、今回で総額 160 万円となり、すべてふるさと文化基金に積み立てております。以上です。

田中委員長
各 委 員
田中委員長

これから質疑に入ります。

ありません。

別になければ、質疑を終結し、本件を終了します。

事務局からその他説明事項はありますか。

事 務 局
田中委員長

ありません。

事務局からは特にないようですが、各委員から他にご意見、ご質問等があればお受けいたします。

各 委 員
田中委員長

ありません。

別になければ、ここで会議の進め方についてお諮りいたします。

次の日程第 3 の案件については、帯広市教育委員会会議規則第 16 条第 1 項 6 号により非公開にしたいと存じます。

これにご異議ありませんか。

各 委 員
田中委員長

異議なし。

ご異議なしと認め、そのとおりに取扱いいたします。

これより会議を非公開といたします。

日程第 3、報告第 1 号、平成 27 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

橋場 部長

報告第 1 号、平成 27 年度全国体力・運動能力、運動習慣調査の結果についてご報告いたします。議案書 1 ページ以降でございます。この調査は全国的に児童生徒の体力・運動能力の低下傾向が続いておりますことから、その実態を把握・分析することを通して、その改善を図ることを目的に、平成 20 年度から実施され、この間悉皆方式から抽出方式、また、震災による中止など、様々な形で実施されてきたものが平成 25 年度から再び国の悉皆調査として実施されるようになったものであります。小学 5 年、中学 2 年を対象に 8 種目の実技と運動習慣等を内容とする質問紙による調査が昨年 4 月から 7 月末まで、本市では実質 5 月から 7 月末までに実施され、帯広市からは小学校 26 校、1,358 人の児童、中学校が 14 校、1,395 人の生徒が参加しております。結果の概要についてご説明いたします。議案書 5 ページには小学校男子、6 ページには小学校女子、7 ページには中学校男子、8 ページには中学校女子の状況をそれぞれ、各種目の結果、合計得点、全国との比較、視覚的に工夫したレーダーチャート等を掲載しております。5 ページの実技の結果を見ますと、小学 5 年生では、男子で全国平均を上回っているのが、8 種目中 5 種目、網掛けになっている部分が該当する部分です。女子では、全国平均を上回っているのは 4 種目あり、男女どちらも昨年と比較すると 1 種目多い結果となっております。同じように 7 ページ、中

学2年生では、男子で全国平均を上回っているのが、立ち幅とびとシャトルランを含めた9種目中5種目となり、昨年より2種目多くなっておりますけれど、女子では昨年同様、全国平均を上回っている種目はありませんでした。以上が実技の結果の概要であります。また、今年度につきましても、これまでの文章やグラフなどによる公表に加え、種目ごとの記録やそれぞれを得点化したものの合計得点、全国を50とした場合の偏差値であるT得点、各種質問紙の回答状況などにつきましては、学力に関する調査と同様に、地域の学校教育の状況に関する説明責任及び学校・家庭・地域が連携した体力等の向上の取組の充実などの視点から、本市全体の状況については数値で公表いたします。しかしながら、体力や運動能力に関する調査につきましては、児童生徒の体型や肥満度などにも影響を受けると思われるほか、実施時期が実質5月から7月まで、約3ヵ月間の期間のうち、学校の任意の期日に行っていること、調査実施場所や施設・用具などが一定でないこと、児童生徒の服装や履き物も様々であること、測定者の感覚や力量に委ねる部分が多いことなどのように、学力の調査以上に条件の違いがあることなどを明らかにし、単に数値のみで判断できないということを公表の際に文章として添えたいと考えております。その他、本調査からは、児童生徒の身長・体重・座高から肥満傾向・痩身傾向について、質問紙調査の結果からは、運動習慣や生活習慣、体育の授業に関する意識等について、それぞれ本市の児童生徒の状況が明らかになっておりますけれど、中学校女子で課題は残るものの、全体的に改善の傾向が現れてきていると認識しております。教育委員会では、これまでも第一に学校の指導の改善を働きかけるとともに、望ましい食習慣を促すパンフレットの作成・配付など、家庭での生活習慣の改善に向けた啓発に努めてまいりました。今後も一層、具体的な目標設定に基づく取組みの充実や1校1実践の継続的な取組など、学校への適切な働きかけを行いますとともに、関係機関との連携、特に保護者との連携を図るために、市P連との情報共有・情報交換などに努め、本市の子どもたちの体力・運動能力等の向上と生活習慣の改善を図ってまいります。この後、各学校、所管委員会である建設文教委員会の委員の皆様などにご報告させていただき、肥満傾向など配慮を要する部分を除きまして、レーダーチャート等を添えて、本市のホームページなどでも公表してまいります。また、学力同様に各学校の結果の概要と取組み状況等について、帯広市のホームページと各学校のホームページをリンクさせることで、本市の取組みを総合的に発信するとともに、北海道教育委員会の公表につきましても例年のとおり同意してまいりたいと考えております。報告は以上でございます。これから質疑に入ります。

田中委員長

藤澤 委員

各学校で体力向上に向けた1校1実践の取組みとありますけれども、具体的には学校によって、劣っている種目をがんばるといふことなのか、どのような設定になっていますか。

村松企画監

各校が行っている1実践につきましては、学校にある備品等の状況もあり、各学校はこのデータに基づいて特定のものを設定するというよりも、継続的に子どもたちの体力が上がることを目的としながら、教職員間で検討し実施しているところでございます。具体的には昔からやられていた縄とびを休み時間に何回飛んだら、どこまで行けるなどのゲーム性を意識したもの、また、昔遊びの竹馬を利用して体力向上につなげるなど、各学校で特色ある教育活動と結びつけた活動が行われています。それを通して体育の授業を充実させるということも並行して行っていることが、今回このような形で体力向上につながっていると分析しております。

伊藤 委員

意見も合わせて質問したいと思います。新体力テストが行われて、個人的なデータが一覧で出されると思いますけれども、そのデータを各担任の先生が個人面談により、あなたはここがいい、ここが落ちているなど指摘をしながら、今後はここをトレーニングしたらいいなどの指導をされているのかお聞きします。それから、家庭ぐるみで運動に対する意欲・関心を高めるため、単P、連Pに呼びかけることも重要なことだと思います。例えば、PTA活動として、家族で新体力テストをやってみようなどの呼びかけをすることにより、スポーツへの興味・関心や能力の落ちている部分、いい部分が家庭ぐるみで感じとれるだろうと思いますので、呼びかける際にはそういった具体例を提示してはどうかと思います。もう1つは、帯広市は健康スポーツ都市を宣言していることから、生涯学習部ではスポーツの振興をされていると思いますけれども、体育指導員を中心にした全市的な体力テストのようなものを実施しているのかどうか、学校とも連携して、体育指導員を中心にした全市的な活動へ結びつけると、また学校へ帰ってくる気がします。生涯学習部ではこの子どものデータを見て、大人としても取り組む考え方はあるのかどうかお聞きします。

村松企画監

子どもたちへの個人データの配付につきましては、全国体力・運動能力、運動習慣調査については、小5、中2の全国的な悉皆調査でございます。そのほかに帯広市では独自に中学校は全学年、小学校は4年生から6年生までの学年で全種目、また、1年生から3年生は抽出した2種目、すべての学年で新体力テストに取り組んでおります。そのデータを個別に子どもに返さなければならないということで、私どもで作成した個人個票が作成できるプログラムを配付しております。レーダーチャートが入っていて、一人一人が全国と比較できる個人個票として渡すことができるようになっています。そ

れを担当の先生が個別に渡す際に一言、子どもたちへの配慮がなされているものと考えております。2点目の家庭への取組みにつきましては、市P連との話の中で体力向上については何度かお話をする機会がありまして、家庭での取組み、継続的な運動習慣についてお話をさせていただいております。家庭との連携について、今伊藤委員がおっしゃった視点は、なるほどと思ってお聞きしておりました。さらに市P連や単Pなど、家庭に帰っての連携については、どのような形でできるのか今後も話し合いをしたいと思います。以上です。

敦賀 室長

体育指導員のお話がでましたが、今現在は法の改正に伴いスポーツ推進員と名称が変わっております。各小学校下に1名から2名を配置しております。このスポーツ推進員による体力測定は、まず、推進員に対する体力測定の研修会を開催しております。各小学校下に1名か2名しかおりません。その内の1名は学校の先生で、地域のスポーツ推進員の1名と単P、生涯学習推進員等が協力し合い、学校地区単位で体力測定を行っているところが年に1校か2校ございます。学校の行事の関係や道具をたくさん使うこともあり、全市的な取組みまでは広がっておりませんが、学校側から子どもさんへ体力向上の呼びかけは非常に出ていますが、家庭内では親から子どもに話がいっていないという状況も見えておりますので、推進員の活動について、この辺の情報を広げてさらに取組みを広げてまいりたいと考えております。

伊藤 委員
田中委員長

ありがとうございます。

私からも1点質問します。先ほど橋場部長からも言われたとおり、データを全面的に信用しているわけではないということをお話前提にしてお話しするのですが、中学校女子はあまり良くないですよね。具体的な理由については分析をされていますか。

橋場 部長

明確な分析をしているわけではないのですが、一般的に思春期の女の子の特徴として、人前で全力を尽くすことに対する羞恥心など、その反面、部活動で一生懸命に身体を動かしている子どもの2極化が進んでいると見ております。学校でも全力を尽くすことに対する価値観を指導していると思いますし、活発な女の子はたくさんいますが、2極化している中でデータを見ると総じてこうした結果になり、一般として年齢的な発達に基づく特性もあるのではないかと見ております。

田中委員長

4つの部門でここだけ突出していて、帯広の中学校女子は体力が低いと言われてしまうと、辛いなという思いがありました。

橋場 部長

北海道全体に低い傾向が見られますので、道教委とも連携を図りながら取組みを進めていきたいと思っております。

田中委員長

ありがとうございました。

他になければ、質疑を終結し、本件を終了します。

以上で本日の日程はすべて終わりました。

これもちまして、平成28年第1回帯広市教育委員会会議を閉会いたします。